

調布市ミニバス（北路線）地域懇談会

1 開催日時

①平成27年4月15日（水）

午後2時～午後3時30分 北部公民館

午後7時～午後8時30分 野ヶ谷ふれあいの家

②平成27年4月17日（金）

午後2時～午後3時30分 野ヶ谷ふれあいの家

午後7時～午後8時30分 北部公民館

2 参加者数

① 北部 6名 野ヶ谷 8名

② 野ヶ谷 9名 北部 8名 合計31名

3 意見要望

- ・1時間に3便に増便して欲しい。全時間帯が無理なら、通勤通学の時間帯だけでも増便して欲しい。増便すれば利用者も増えるのではないか。
- ・終バスを午後9時ごろまで延長して欲しい。
- ・調布駅北口や晃華学園東など、他のバス路線と一緒にの停留所は、どのバスに並んでいるかが判るようにバス待ち環境の改善をして欲しい。
- ・到着時刻を10分おきとか、このバス停は何時にバスが来るなど利用者にはわかりやすくして欲しい。
- ・つつじヶ丘に接続する便を作って欲しい。
- ・柴崎二丁目とけやき児童遊園までの間にバス停を増設して欲しい。
- ・他のバスへの乗り換えができるようにして欲しい。
- ・花水木、地域センター、図書館、体育館などの公共施設に接続して欲しい。
- ・北側部分について、バスの車両を小さくし、近隣の公共施設に接続して欲しい。巡回型にしてバス停にとらわれずに乗り降りできるようにして欲しい。
- ・ステップを低くして欲しい。

など

4 ミニバス北路線の現状と市・バス事業者からの提案

ミニバス北路線はバス事業者と協定を結び、バス事業者の自主運行で路線を維持しているが、収支はマイナスと聞いている。上ノ原循環の地域は利用者が多いが、晃華学園東バス停から都営深大寺住宅までの間の利用人員が非常に少ないと聞いている。このまま、ほぼ空の状態で開催していくことは北路線の存続も危うくなっていくとのこと。運行収支を改善するため、バス事業者からの提案として、現在、都営深大寺住宅行を2便、上ノ原循環便を1便の合計3便で開催しているが、都営深大寺住宅行を1便に変更し、上ノ原循環を廃止しつつじヶ丘駅に接続する便に変更したいとの提案があった。

●メリット

利用者の多い部分を多く巡回する形になるため、現在ある車両の数で、一部のバス停の運行回数が増え、待ち時間の解消や輸送力の増加が見込める。

つつじヶ丘に接続することで、新たな利用者の獲得ができ、運行収支も向上すると思われる。

つつじヶ丘駅に接続して欲しいとの住民要望に応えられる。

つつじヶ丘駅に接続することにより、京王線の利用がしやすくなる。

●デメリット

晃華学園東より北部のバス停は運行便数が半減する。

5 提案事項についての意見

- ・つつじヶ丘行は上ノ原小学校からバスが出ているので必要ないのでは？
- ・深大寺市営住宅バス停はスーパーやクリニックがあるため、利用人員は多いはず。
- ・北側からもつつじヶ丘に行けるようにして欲しい
- ・新路線について、案としては良いが、北側が少なくなるのは不満
- ・利用者が多いところは減らさないで欲しい。
- ・野ヶ谷付近の生活買物圏は三鷹・吉祥寺・調布なのでつつじヶ丘に接続しても意味が無い。
- ・経済的には当然。市で補助金を出すなどしたらどうか？

- ・柴崎方面と野ヶ谷地域での利用状況やミニバスに対する思いが違う。
- ・野ヶ谷地域でのミニバスの利用は調布駅行く利用はない。調布に行くのであれば路線バスを利用する。
- ・便数を減らすのであれば、つつじヶ丘に接続して欲しい。
- ・花水木や地域福祉センターにつながる方向で路線変更して欲しい
- ・毎日見ているが、バスはいつも空で運行している。
- ・福祉の目線で考えるなら、利用者が少なくても減らすべきではない。
- ・廃止は止めて欲しい。
- ・買い物や通院に利用している方に不便にならないようにして欲しい。
- ・既存の路線をどうこうするよりも、地域の課題を受け止めて利便性の向上に向けて幅広い新たな提案を出して欲しい。
- ・北路線だけ収支が悪化というのであれば、別の路線で収支の改善をし、トータル的に黒字になればよいのではないか？
- ・バス事業者のデータだけではなく、市が検証したうえでのデータを提示し検討して欲しい。
- ・利用状況の調査どこで乗ってどこで降りて何を利用しているかの実態調査。
- ・深大寺市営住宅でスーパーやクリニックの利用が多い
- ・少し小さなワゴンで北側の公共機関などを循環するタイプにしたら、便数も増え、利用者も増えるのではないか。
- ・ミニバスは福祉とした趣旨で行っているはず。ミニバスよりも三鷹通りのバスの増便を。
- ・ミニバスはほとんど空で走っているのだから、民間なら当然の言い分。
- ・上ノ原地区と野ヶ谷地域では考え方が違う
- ・収支が悪いだけで路線を変更するのは可笑しい。
- ・赤字であれば、不便地域を不便にするだけ。補助金を出すべき。
- ・野ヶ谷地域の人には調布に行くのにはミニバスは利用しない。他の施設などを利用するために使うのであって、運行開始当初から利用が少ないのは判っていたはず。
- ・迷惑施設を受け入れた地域の利便性を高めようとした意図もあったはずなので、収支が合わないというだけで便数を減らすことはおかしい。

- ・収支の話に住民してもしようがない。
- ・今より便数が減ったらさらに利用者が減る。
- ・利用者に使いやすい形で時刻の変更をして欲しい。府中市はバス停の時刻は一定になっている。
- ・ミニバスの趣旨「高齢者等の社会参加促進」に逆行している。利用が少ないからといって減らすのはおかしい。
- ・多くの人に利用して欲しいのであれば、便数を増やすべき。
- ・ミニバスが通ったことにより、小田急バスが減っている。野ヶ谷地域はますます不便になる。
- ・調布駅が使いにくいのでつつじヶ丘に接続は歓迎する。
- ・人が乗らない時間帯があるのであれば、時間帯によっては人が乗りそうなところに振り分けても良いのではないか
- ・北側路線を調布ではなくつつじヶ丘に行くようにすればよい。
- ・データが秋・冬なので春や夏も検討して欲しい。
- ・シルバーバスの利用者も含めた利用者のデータを考えたうえで検討して欲しい。実際に利用者が少ないのであれば止むを得ないのかも。
- ・利用人員データは、ICカード利用者のみであれば根拠にならないので、シルバーバス利用者も調べて欲しい。
- ・利用の少ない時間帯を利用者の多い部分に充てることについては概ね理解するので、ちゃんとしたデータを出して欲しい。

6 今後について

調布市として、北路線の利用人員調査を行う。調査結果を踏まえ、今後の方針を考え、再度地域懇談会を行い利用者の意見を確認する。